

第2回事例研究

「自治体現場の最前線に学ぶ」

レジ袋削減から環境先進都市へ

～新しい生活スタイルの提案：杉並区の実践～

1. 講師 杉並区区民生活部長 四居 誠さん

2. 対象者 市町村職員で希望するもの 事例紹介：定員200名

意見交換：20名程度

事例紹介は講演会形式で行います。

意見交換は事前申込み者を対象に、場所を移して実施します。

3. 実施日 平成15年7月25日(金) 事例紹介：午後2時～4時まで

意見交換：午後4時～5時まで

4. 会場 (財)大阪府市町村振興協会マッセ OSAKA 5階

事例紹介：映像研修広場

意見交換：第3研修室

5. 内容

地方分権一括法の施行後、地方における課税自主権が強化されてから、全国では産業廃棄物税、森林環境税など「法定外目的税」の議論が活発化し、既に導入され始めています。

杉並区では「とりやすいところからとめる」「課題解決がインプットされる仕組みとする」「区民の選択権を保障する」の3原則を守って、「すぎなみ環境目的税」いわゆる「レジ袋税」が成立しました。これにはレジ袋の削減を契機に、区民に深く環境について考えてもらい、生活文化そのものを見直す機会になればとの思いが込められています。これは新しい生活スタイルを提案する杉並区独自のスタイルです。

今回の講演では、条例可決までの険しい道のりについて、特に地元商店街や商工会議所、関係団体との激しい折衝など、実際に経験された立場から現場の苦労話を交えてお話いただきます。

6. 申込み方法

お申込みは各市町村研修担当課にお願いします。

(担当：マッセ O S A K A 研究課)